

地元団体を 隣人として支える

● NPO法人応援のしっぽ

震災当時、関東で一般企業に勤めていたNPO法人応援のしっぽ代表理事の広部知森さん。三カ月後の六月末にボランティアとして石巻に入り、南境の集会所を拠点とする「ボランティア支援ベース絆（現一般社団法人OPEN JAPAN）」の一員として、主に大川小学校周辺の拾得物の洗浄・返還をしていました。

●●● 地元の人々にノウハウを ●●●

石巻で様々な支援団体を目にしてきた広部さんは、そこに地元の団体の姿があまりないことが気になりました。「二年後、三年後はどうなってしまうのか。彼らがやっていることをいつかは地元の人たちが肩代わりしなくてはいけない」と、外部から支援に入っている団体が持つ豊富なノウハウを地元の人々につなぐ、そんな役割が必要だと考え、その年の十月、任意団体「応援のしっぽ」を立ち上げました。

その後広部さんは「自分に団体運営の経験がなければ、他の団体を支援することはできない」と、情報発信のHPを立ち上げ、経理など団体運営に関することも一通り経験していきました。

そして二〇一二年九月、現在の主な事業である、被災地活動団体応援サイト「応援もなか」を立ち上げます。

●●● 「顔が見える」応援サイト ●●●

「応援もなか」とは、登録団体の報発信を支援するほか、寄付を集める支援、販売促進の支援を行うポータルサイトです。登録団体数は石巻市だけに限らず県内外合わせ、現在三十八団体。「応援もなか」のトップページから各団体のブログ記事が読め、応援したい時は、一口一〇〇〇円の寄付や手づくり商品の購入が可能です。サイトの内外を通じて、これまで約一三〇万円の寄付をつないできました。



▶今年二月に巨理で開催されたものづくり交流会にて、団体の相談に応じる広部さん(左)

「応援もなか」とは、登録団体の報発信を支援するほか、寄付を集める支援、販売促進の支援を行うポータルサイトです。登録団体数は石巻市だけに限らず県内外合わせ、現在三十八団体。「応援もなか」のトップページから各団体のブログ記事が読め、応援したい時は、一口一〇〇〇円の寄付や手づくり商品の購入が可能です。サイトの内外を通じて、これまで約一三〇万円の寄付をつないできました。

●●● 長期継続のため認定目指す ●●●

石巻市で活動するものづくり団体「おだつてばりい」は二〇一二年秋頃から、「応援もなか」を通じて応援のしっぽが支援を続けている団体です。「新しい販路のご紹介など、色々なことで応援のしっぽさんにはお世話になってます」と「おだつてばりい」で代表の秋山京子さん。

応援のしっぽの運営体制は、広部さんを含め、現地スタッフが三名。二〇一二年十一月にNPO法人化したばかりではありますが、さらに認定NPO法人取得も視野に入れており、現在着々とその準備を進めています。

「団体を立ち上げた時から認定NPO法人を目指しています。五年、十年と長く続けていくためには、認定を取って寄付を集められる団体にしていかなくてはなりません。新たな活動のアイデアも溜まっています。まずは地固めを優先する構えです。」

NPO法人応援のしっぽ

〒986-0824 石巻市立町2-7-25-2F
 ●TEL : 0225-24-9258
 ●FAX : 0225-24-9259
 ●E-mail : info@oennoshippo.org
 ●URL : http://oennoshippo.org/